

仏教伝来の地碑

この付近は、難波津から大和川を上って来た舟運の終着地で、大和朝廷と交渉を持つ国々の使節が発着する都の外港として重要な役割を果たしていた。



つばいち

海柘榴市観音堂



古代から栄えた交易市。王朝以来、長谷寺詣での宿場として栄えた。

かなや せきぶつ 金屋石仏

平安時代頃に彫られたとされる二体の石仏。右が釈迦如来、左が弥勒菩薩で石棺の蓋と思われる。



見事な皇帝ダリア発見



三輪山平等寺

もとは大神神社の神宮寺で、聖徳太子が永遠の平和を祈願する霊場として創建された。





おおみわ
大神神社（三輪明神）



三輪山は高さ 467m、古来より神が鎮座する山として仰がれ、本殿は設けず拝殿の奥にある三ツ鳥居を通しお山を拝するという、原初の神祇りの様が伝えられている。大三輪の神は国造りの神様として、大和国一ノ宮・三輪明神と親しまれている。



拝殿



祈祷殿・儀式殿・参集殿





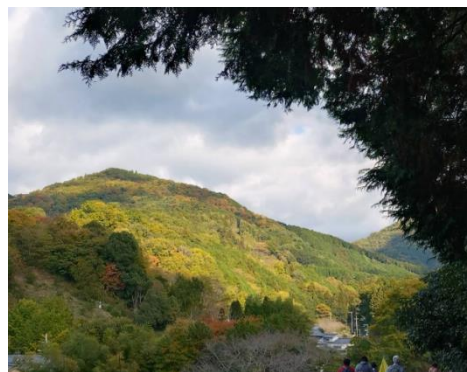
大美和の杜展望台からの風景 昼食タイム



人数確認で一人少なく、無事合流



この日本最古の道は、太古に遡ることができる特別な道。いにしえの人も往来したであろう道の風景を楽しみながら歩きました。



げん び あん
玄 賓 庵

ここは、玄賓僧都が隠棲した庵で818年に亡くなった。謡曲の有名な「三輪」は玄賓と三輪明神の物語を題材にしたものだそうです。



ひばら

檜原神社

大神神社の摂社で祭神は天照大御神。境内には本殿・拝殿がなく三ツ鳥居を通して御神座を拝す。この周辺は、崇神天皇が皇居に祀られていた天照大神をお遷しし、伊勢神宮鎮座前に大神をお祀りした笠縫邑（崇神天皇の時代の三種の神器の鏡と剣）の伝承地であることから、元伊勢と呼ばれている。



けいこう 景行天皇陵



第12代天皇で日本武尊の父

すじん 崇神天皇陵



第10代天皇

JR 柳本駅

体操・解散



11月23日全国の神社で新嘗祭が行われ、山の辺の道の無人のお店には、野菜や果物の他に新穀の草餅が売られていました。とっても美味しかったです。色々ハプニングもありましたが、とても素敵な道でした。皆と歩いて感動しました。